

## 「Y-PORT 事業」を通じた企業の海外展開実現を目指して 様々な関係者による対話『共創 Y-PORT ワーキング』を開催しました。 ～ 都市間協力を通じた JCM プロジェクトの形成促進 ～

新興国等における都市課題の解決支援と企業の海外展開の促進に向けて「第12回共創 Y-PORT ワーキング」を開催しました。

今回のワーキングでは、インドネシア共和国バタム市及びタイ王国バンコク都での JCM（二国間クレジット制度）調査において本市と取り組んでいる、IGES 様及びOECC 様からプロジェクト形成に向けた現地でのビジネスマッチングの開催情報等についてご紹介いただきました。また環境省様から二国間クレジット制度（JCM）や本邦自治体や企業への期待についてご講演いただきました。さらに、バタム市長の訪日の機会を捉えて、バタム市長及びバタム市職員から当地のインフラ事業かかる現状やニーズ等をご紹介いただきました。

地震による中断というハプニングにもかかわらず、講演者の方からは多くの情報を提供していただきました。

### 1 ワーキングの概要

(1) 日時：平成27年5月25日（月） 13:15～15:15

(2) 場所：関内新井ホール

（住所：横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11階）

(3) 参加数：97名

(4) 内容：

- ・バタム市長挨拶、バタム市の概況とインフラニーズ  
バタム市 市長 アフマド・ダーラン氏  
バタム市 プロジェクトコーディネーター アミル・ルスリ氏
- ・インドネシア共和国バタム市における JCM 案件形成調査について  
公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES） 浅川賢司氏
- ・タイ王国バンコク都気候変動マスタープランに基づく JCM プロジェクト開発と低炭素技術導入のための資金等導入のための資金等促進スキーム検討調査  
一般社団法人海外環境協力センター（OECC） 加藤真氏
- ・自治体の都市間連携に基づく環境省のアジア低炭素都市支援について  
環境省地球環境局国際連携課国際協力室長 木野修宏氏
- ・上記プログラム終了後に同会場にて、15:30からY-PORTセンター発足式及び交流会が開催されました。



バタム市長挨拶



会場全景

## 2 ワーキングの様子



バタム市からの情報提供



I G E Sからの情報提供



O E C Cからの情報提供



環境省からの講演

## 3 アンケートの結果（参加者の意見）等

### 【主な意見】

- ・実際にバタム市から直接プレゼンを拝聴できたことがよかった。
- ・インドネシアでのJCMプロジェクトについて検討しており、講演内容は極めて有効であった。
- ・具体的な現地のニーズや課題が挙がっており、大変満足。
- ・現地企業とのマッチング会を希望。  
等のご意見をいただきました。

現地企業とのビジネスマッチングについては、今回の講師であるIGES様、OECC様が現地での開催を予定しております（横浜市も協力）。参加企業の募集情報については、Y-PORTメーリングリストでお知らせしてまいります。Y-PORTメーリングリストへのご登録をお済ませでない方は、こちらからご登録をお願いいたします。

<<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/company/mailnews.html>>

お問い合わせ先

横浜市国際局国際協力課 武藤、佐々井 TEL 045-671-4396